



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/14号 2019/5/28

1年生、『個人リサーチ』開始！！

4月25日（木）から6月20日（木）までの全6回、1年生がSS探究Ⅰにおいて個人リサーチ活動に取り組みます。この取り組みの目的は、「視野の拡大・情報収集の手法の習得・プレゼンスキルの習得をはかり、2学期以降に取り組むミニ課題探究の質を向上させる」ことです。

提示された様々なジャンル約60のテーマから、自分の興味関心があるものを選び、調べ学習を行います。オリジナルのテーマを設定した生徒も少なくありませんでした。とても意欲的です！最終的には4コマプレゼンを行い、リサーチの成果を発表することになります。

1年生にとっては初めてのSSH事業であり、また次のステップにも大きく繋がる活動です。世の中の様々な事象に目を向け、しっかりとリサーチを行ってほしいと思います。



個人リサーチ テーマ例

『ゲーム理論～日常の行動から軍拡競争まで』

『21世紀の5大問題～未来の我々を待ち受ける重大な課題とは？』

『大村湾ってすごい！！』

『海洋温度差発電とは？ どんなメリットがあるの？』

『海底で野菜を栽培する？』

『円周率を求めるいろいろな方法』

『こども食堂って何？』

『アレロパシー～植物が繰り広げる化学戦～』

『理想的な睡眠時間と日本人の平均睡眠時間』

『ユニバーサルデザインって何？』

『人工知能は錯視を起こすのか』

『水の硬度～硬水と軟水～』

◆SS探究ⅡB:インフラさるく

5月8日（水）、長崎ウエスレヤン大学基盤教育センターとの連携のもと、標記セミナーを開催しました。これは、産官学民の連携によるインフラに着目した協働型フィールドワークで、自らを取り巻く多様な社会環境を知ることやそれらとの主体的なかかわり方を実践的に学ぶことを目的としたものです。第1回目の今回は、大村市観光コンベンション協会から向野 頼洋 様を、山口県周南市建設部道路課より今井 努 様を講師としてお招きし、それぞれ、「観光ガイドから見た長崎街道と大村」、「しゅうニャン橋守隊の取り組み」について講義をしていただきました。

生徒にとっては、ふだん見慣れた道路や橋を歴史的な視点と工学（インフラ）的な視点の両方から学ぶことにより、新たな視点を獲得したようでした。



◆SS探究ⅡA・B:課題研究講座



5月8日（水）の6、7校時に、SS探究ⅡA・Bの時間を利用して2年生の数理探究科・普通科理系全員と普通科文系の一部の生徒を対象とした課題探究に関する講座が行われました。

長崎西高校から講師の長嶋哲也先生をお招きし、課題探究の進め方について模擬演習も交えながら講義をしていただきました。長嶋先生の豊富なご経験とともに、全国でも受賞された研究例も紹介していただき、レベルの高い研究とその結果を残すまでの過程に、生徒達はとても関心を持って聞いている様子でした。今回の講座を通して、今後の課題探究への見通しを持つことができました。